

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



整形外科手術の紹介 ～ 最新鋭のX線透視装置を導入 ～

当院では、昨年11月に手術室で使用するX線透視装置（移動可能なレントゲン装置）として最新のアメリカGE社製OEC Elite CFDを導入しました。



<http://www3.gehealthcare.co.jp/>

新型の透視装置は主に整形外科手術時に使用しています。整形外科手術において、透視の果たす役割は大きく、整形外科医の第二の目と言っても過言ではありません。

近年、筋肉や組織のダメージを最小にする小さな手術創で、透視を用いて骨の状態を確認しながら実施する最少侵襲手術（MIS）が増えています。

【外傷手術】

四肢の骨折では髄内釘の手術（骨の中に太い金属を通して骨の内部から固定する手術）が増加しています。手術によるダメージが少ない上に強力な固定力が得られ、下肢の場合は手術直後から体重をかけて歩行できる患者様もいます。髄内釘を骨の中に挿入するために透視を用いて手術操作を行います。詳細なコントロールが可能となりました。

【関節外科】

これまでは手術中に骨の状態を確認することが困難でしたが、新型の透視装置により手術中にインプラントのサイズや方向の確認が可能となり、より正確なインプラントの設置が行え、安全性が増しています。ナビゲーション手術※が流行していますが、透視を活用すればナビゲーションに劣らない設置が可能と考えています。透視による手術は5分程度で

インプラント確認が可能であり、時間のかかることが多いナビゲーションと比べ、よりスピーディと言えます。

※医師が使っている器具の先端が患者様の体のどこに位置するかを示して確認することが出来る装置（手術用ナビゲーションシステム）を用いた手術

【脊椎外科】

脊椎圧迫骨折後に骨が固まらず、痛みが続いて起立困難となる患者様がいます。そのような方は経皮的椎体固定術によって起き上げられるようになることがあります。潰れた骨に人工骨を充填して潰れを回復させ、透視で確認しながら小さな創から椎弓スクリューを挿入し、脊椎を固定することにより痛みが軽減され、曲がった背骨が伸びます。新型の透視装置は今まで見えにくかった椎骨（背骨）の椎体という部分もきれいに映すことが可能となり、より安全にスクリューを固定できるようになりました。

【時間短縮と安全性の向上】

また、この透視装置は病院内のコンピューターと連動しており、手術終了と同時に透視装置を用いて手術後のレントゲン撮影ができます。それにより麻酔時間が短縮し、手術室の有効活用が行われ、患者様やご家族の負担軽減、待ち時間の短縮、安全性の確保にもつながっています。

最新の透視装置をフルに活用して安全正確な手術を提供していきたいと思っておりますので、膝や股関節の痛い方、圧迫骨折後に痛みがとれず困っている方、下肢神経症状で歩くのが辛い方は、お気軽に当院整形外科を受診していただければ幸いです。

文責：関節機能再建センター長 整形外科部長
上野 岳暁（たけあき）・写真中央





「レポート・ドック」のお知らせ



当院健診センターでは、2015年（平成27年）4月以降に当健診センターをご受診いただいた皆様へ、4月及び5月に受診いただける新しい人間ドック・脳ドックコース「レポート・ドック」をご用意いたしました。ぜひこの機会にご利用ください。
 詳しくは、横浜新緑総合病院 健康管理室までお問合せください。
 電話：045-984-3003（直通） 受付時間：月～土 9:00～17:00（※日・祝は除く）



詳細はこちら↑



横浜市医師会より表彰されました

昨年10月、第39回横浜市社会福祉大会にて「生活保護法医療功労」の区分で当院が表彰されました。その功績が称えられ横浜市医師会より表彰を頂き、緑区医師会からは立派な生花を頂戴しました。華やかで彩り豊かな花々は外来フロアに飾り、ご来院される皆様楽しんでいただきました。

当院はこれからも地域医療に貢献していけるよう努力してまいります。



シリーズ健康豆知識 フレイルを予防する食事 ～蛋白質を摂りましょう～

【上手な取り入れ方】

1食1品を目安に食事に取り入れましょう。

- ・パン +6Pチーズ1個/卵1個/牛乳 200cc
- ・麺 +揚げ1枚/卵1個
- ・おにぎり +サラダチキン/豆乳 200cc



フレイルとは、高齢者が加齢と共に筋力や体の機能が低下することをいいます。フレイルを予防するには運動や食事、日常の過ごし方がポイントになります。

食事のポイントの一つは「蛋白質を摂ること」です。蛋白質は筋肉のもとになる栄養素で、肉や魚、卵や大豆製品に多く含まれています。

食事をご飯やパン、麺など簡単に済ませていませんか？

蛋白質は摂りすぎると肥満に繋がりますが、不足すると筋力の低下に繋がるため、1食1品を目安に食事に取り入れましょう。

※生活習慣病など医師より食事に関する指示のある方は医師・栄養士にご相談ください。

栄養科 管理栄養士 大平 真衣

2020年 地域健康講座のご案内

※参加費無料・先着順受付

3月28日（土）開催を予定していた「みんなの健康講座 in みどりアートパーク」は新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大を鑑み中止とさせていただきます。

ご来場を予定されていた皆様にはご迷惑をお掛け致しまして大変申し訳ありません。次回のご来場をお待ちしております。

4/11

（土）

第2回 ふれあい健康講座 主催：横浜市白山地区センター

「ガンコな咳（せき）」 ～原因や治療・予防について～

講師：横浜新緑総合病院 副院長 兼 内科部長 堀地 直也

時間：13:30～14:30 定員：50名

会場：横浜市白山地区センター 中小会議室（鴨居駅より徒歩7分）

お申込み：3月11日より受付 電話 045-935-0326 又は白山地区センター窓口にて



当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→